

堺南御坊

2006年5月号

第297号

東本願寺堺南御坊

〒590-0944(難波別院堺支院)

堺市堺区櫛屋町東四丁一一一九

電話〇七二一-三八一五三九

私たちの体の成分

人体は、食べ物に含まれる水分・タンパク質・脂肪・炭水化物(糖質)・無機質(ミネラル)など

の成分が材料となり作られたものです。だから私たちの体は、他の生き物からの預かり物です。

紀元前5世紀ごろのインドでは、極めて素朴な考え方で、人体は『地・水・火・風』の4要素が、縁(条件や関係)により集まっているだけで、もともと空である』との人体縁起論がありました。

地とは人間の骨や歯などの硬い成分、水とは血液・だ液などの水分、火とは体温、風とは呼吸です。

この4要素が、縁により集合し・人体を構成しているだけであって、何かの縁で、その1要素が働きを失うと、人間は死ぬので、「人間は本来『空』であり、私の身体だと思っているが、実は自分の所有物ではないのだ」との考え方でした。

人間の命は、はかない

私たちは、絶えず空気中の酸素を頂いて生活しています。成人が1日

約40万円になるでしょう。

鼻と口から吸入した酸

素は、血液により栄養素

と共に全身に運ばれます。

成人の血流量は4~5ℓ

し、血液は約4分間で人

ます。

心臓は、その人の『握りこぶし』の大きさで、

1分間に60回以上も収縮

し、血液は約4分間で人

『いのちに目覚めて』(下)

能岡 浄(堺市・願成寺住職)

止法説話⑨

に必要な酸素の量は約1kgで、費用は約千円です。

運動すると吸い込む酸素量は増えるから、1年で

で、全身に分布する血管を1本の線にすると、合計10万km以上で、地球を2周半できる長さになります

体内を一巡します。
お釈迦様は『息を吸う・吐くの一瞬一瞬が生きているということだ』と言



われました。

私たちの呼吸が止まるのは『今日ともしらず…

〔蓮如上人の白骨の御文〕なのです。

後生大事

常に心をこめて一生懸命に努め、我が人生・我が命を大切にすることが『後生（来世）大事の意味です。また、「死後の安樂こそが、最も大事である」と考えて「その安樂を得るために、この世において一生懸命に修行すること、または信心を頂いて善行に励むこと」が、最も深い意味なのです。来世の『いのち』が大切であるからこそ「今をいかに生きるか」が問わされることになります。

闇を抱えて

親鸞聖人は『凡夫といふは、無明煩惱われらがみにみちて：（一念多念文意）』と言されました。

私たちは『空氣のありがたさ』に気づかない闇を抱えて毎日、生きています。

阿弥陀仏の光明は『一

切群生蒙光照（正信偈）』

全ての生き物の全身をスッポリと包み込んでいる空氣』とも解釈できます。

この自然の恵みに気が

つけば、「獲信見敬大慶喜」「ありがたい」と自然に頭が下がり『南無阿

弥陀仏』と、思わず知らず出てくるよろこびの心が、信心を得た真宗門徒の姿なのでしょう。

念佛もうすべし

白骨の御文の終わりに『阿弥陀仏を深くたのみまいらせて・念佛もうすべきものなり』とあります。が、私たちの念佛』南無阿弥陀仏には、次の3つがあるようです。

- ①自力の念佛は（無病息災・商売繁盛・交通安全など）自分の思い通りになりたいというものです。
- ②思い通りにならない人生で、『人事を尽くして天命を待つ』後は阿弥陀仏にお任せ』という念佛は一見、他力のようだが、なお私の思い通りにしたいという執着があります。
- ③真宗の念佛とは、例えば病気に対し、念佛を申して苦惱・災難を避けるのではないのです。私の体质（因）と今までの人生を振り返り、『生活習慣病（成人病）』になつた原因と条件（縁とをキチンと明らかにして、

「法印」といいます。諸行無常、諸法無我、涅槃寂靜の三教説を三法印。これに一切皆苦を加えて四法印といいます。

仏像を拝むと、左右の手や指で、種々の形をつくっているのに気がつき

ます。中には、持ち物があり

ます。像も見受けられます。仏や菩薩がその悟りや誓

考えが間違っていたことを知らされるのです。

そして「阿弥陀仏が

少し休めと私が病気を与えられ、『今までの生活を振り返り・今後の人

生をヨーク考え方直せ』と私に時間を下さった』と思いつめれば、この病気

と、何物にも迷うことのない・明るい人生を送ることができます。

逆境のままで

親鸞聖人の和讃に『本

平成十七年十一月二七日
宗祖聖人御遠夜法話より
(完)

願の内容を具体的に表わしたもので「印相」といいます。手や指で表わすのを「手印」といい、密教では特に重んじている

「印」いう言葉もあります。

禅宗などでは、弟子の悟りを認めることを「印可」といいます。そこから芸道などで、師が弟子の熟達に対し与える証明のことになります。

生活の中の佛教語

印

このように、「印」は大切なしるしです。ハンコを押す時には慎重に…

願力に遇いぬれば／空しく過ぐる人ぞ無き…』があります。

人生での苦しみや自分の性格も、固定されたものではなく『空』だから、友人や善き師の助言・良き教えに出会うと考え方も変わります。

そして現在、悲しい・苦しいという逆境のままでも、それを乗り越えて明るく暮らせる生き方ができる智慧が得られます。

友人や善き師の助言・良き教えに出会うと考え方

も変わります。

友人や善き師の助言・良き教えに出会うと考え方

も変わります。